

2014 活動記録

活動日時	2014年9月26日 午後1時半～4時半
場所	池袋芸術劇場 ミーティングルーム
出席者	5名
活動内容	<p>★テーマ：「ハンナ・アーレント」鑑賞と意見交換</p> <p>DVD 鑑賞</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・1906年ドイツに生まれたユダヤ人女性（政治哲学者） ・1933年パリに亡命、第二次世界大戦でアメリカに避難 ・1960年、逃亡中のナチス官僚アイヒマン逮捕される ・1963年、アイヒマン裁判を傍聴したハンナの裁判レポートが『ザ・ニューヨーカー』に連載され後に本となる『イェルサレムのアイヒマン—悪の陳腐さについての報告』（みすず書房 1969年） <p>アイヒマンは極悪人ではなく、ただ上層部の命令に従った、思考の欠如した凡庸な人間である、と「悪の凡庸さ」を説き、ユダヤ人同胞から非難の嵐を受ける</p> <p>意見交換（写真、夏目さん提供）</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・何事にも善・悪だけではないグレーゾーンがある ・彼女は亡命したので立場が多少違うのではないか ・あの哲学者ハイデガーの愛弟子、恋人、に驚いた ・全体主義の恐ろしさを改めて感じる ・深く考えることの大切さをしみじみと思う ・日本の現状、色々な出来事とも繋がる ・昨年秋の上映以来、連日満席、特に中高年女性の関心が高かったのか何故か？ <p>女性の生き方として素晴らしい、羨ましい 同調圧力に屈せず、自分の意見を貫く姿勢（親友を失うも真理はそれ以上の友） 素敵なパートナーが居てこそその女性の強さや魅力</p> <p>※事前にフェリス女学院大学教授である矢野久美子さんの著書に目を通した。 彼女自身、このハンナ・アーレント現象に驚いているらしい。考えることで人間は強くなる、哲学者アーレントの魅力に触れ、思考することの大切さを再認識した。 時に過酷で勇気を必要とするが、その哲学に学びたい。表層の悪に埋もれず、他者の立場をとことん考える、そこから始めたいと思った。（福井：記）</p>